

キリスト教保育

年主題

さあ、漕ぎだそう
奏でよう

礼拝のお話

年間カリキュラム表

特集

さあ、漕ぎだそう
奏でよう

新連載

小さな庭だより

高浜真理子

日々、子どもたちから学んでいること
斎藤惇夫



2024 APR.

4

はじめに神は天と地とを創造された。

聖書 口語訳聖書・創世記1章1

聖書の1ページへ冒頭のこの言葉ほど、力強く、雄大な言葉は少ないのではない。短い一節の中に、聖書の信仰の要約があり、世界と人間の原点があるといえる。それは自然科学的な宇宙観でも、哲学的世界観でもない。創世記2章4節までは、およそ紀元前5世紀半ばに書かれたといわれるが、今日から見れば、批判される古代の表現を借りつつ、聖書の人々が神と世界と人間をとらえる、信仰の告白をなしているのである。そして、その告白は今日もなお、くみ尽くしえぬ深さと広さを持っている。

新年度、喜びと不安の中に、精一杯緊張した新入園児を迎える。その澄んだまなざしと、柔らかい心にふれて、自らを顧みるおそれと、この子たちの前に召された栄光を感じないであろうか。

明治のはじめ、初めてこの聖書の第一句に接した私たちの先輩たちは、新しい世界への光を見いだして、心を揺り動かされるような驚きと喜びを禁じえなかったという。私たちは聖書の言葉に慣れっこになって、新鮮な驚きと喜びを見失っていないであろうか。

永遠のはじめ、宇宙の歴史のはじめ、万物の存在せぬさきに、神のみが存在されたと聖書は告げている。『はじめ』は元始であり、また根源の意味をもつ。「はじめに神」とは、単に時間的順序だけではなく、生命の根源として、すべての存在の根底に、神の主権と恩恵（愛と導き）があるということだ。従って、この主なる神の存在と導きを信じる時、この世界と人生の中で、宿命的偶然的なものに支配される必要は全くないのである。

神がはじめであるということは、私が神のことを考え、神を愛するずっと以前に、神はすでに、私のことを考え、愛において、私を導いておられるという意味でもあるのだ。

天と地とは、単に場所を示すだけではなく、天地宇宙と共に、私たちの住む世界も指している。1章1節は、いわば創造物語の総括的序言であるから、この言葉の中には、当然、私たち人間の創造も含まれると考えられる。

神は創造者であり、天と地の中の全てのものは被造物である。神は造り主であり、私たちは造られたものである。この順序は、どんなことがあっても、決して転倒されてはならぬ。創造信仰のかなめの一つは、神を神とする（神以外のものを神とせぬ）秩序ということであろう。神は唯一であって、多くの神々があるのではない。被造物は神ではない。私たちは、本当に神に造られた者の信仰に生きる時、人間の限界を知ると共に、人間の栄光と使命を知ることができるのである。

（田井中 純作・執筆 当時・日本キリスト教団倉敷教会牧師）

1975年『キリスト教保育』誌4月号より



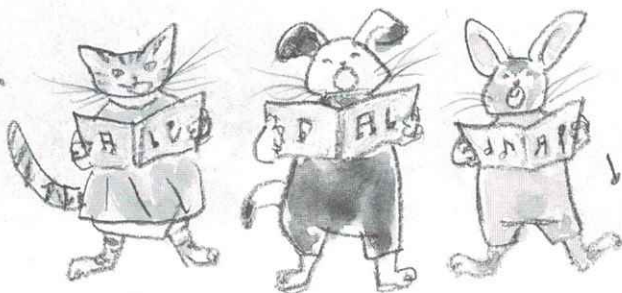
ようこそ キ保誌へ

保育者も子どもも保護者も
居心地の良さを感じながら
安心して私らしくいられる園ってどんな園でしょう。

まなざしを向け合える関係、
目と目で確認できる関係、声にして話せる関係、
横並びのまなざしで同じ物や事を愛でれる関係、
こんな関係の積み重なりが園生活に溶け込んで
一人ひとりのよりどころとなっていくのでしょうか。

言葉にしにくい思いを感じて言葉にし、
いろいろな工夫や知恵、
様々な考え方を誌面で共に分かち合いたいと思います。

一人ひとりを愛されて
うれしい時には喜びを
かなしい時には慰めを
あたえてくださるださるイエスさま
「ひとりひとりのなをよんで」 幼児さんびかIIより
うたいつつ 祈りつつ 今年度もどうぞ一緒に！



malai

キリスト教保育

第661号4月号



年主題

さあ、漕ぎだそう 奏でよう

幼子とともにキリストへ
ようこそキ保誌へ

目次

〔巻頭言〕 子どもをリスpekt
出来ているか 新澤としひこ

6

〔論説〕 「はじめまして」の
キリスト教保育(1) 小見のぞみ

8

〔小論〕 「知覚動考」 越智正篤

17

18

【特集】

「さあ、漕ぎだそう 奏でよう」

年主題・年主題年聖句

年主題聖句について 月下星志

年主題について 寺田千栄

年間聖句表 月下星志

年間カリキュラム表 保育実践研究委員会

聖書にきく・月聖句のお話 月下星志

23 24 28 31 33 36





絵本のとびら 落合麻里

【カリキュラム】

4月の月のねがい

心にとめて 児玉純子

0・1・2歳児 時津こばと保育園

実践からの学び 大久保めぐみ

心にとめて 永瀬真澄

3・4・5歳児 千歳認定こども園

実践からの学び 清水真理

私たちの園では 赤坂洋子

〈新連載〉小さな庭だより 高浜真理子

〈新連載〉日々、子どもたちから

学んでいること 齋藤惇夫

子どもとまもる礼拝 東義也

礼拝のお話年間カリキュラム 編集委員会

礼拝のお話 戸田奈都子

目福耳福口福 畠山修

風 塚本潤一 編集子 矢部尚子

2024年キ保誌ご案内 赤木敏之

連盟だより

84 83 82 81 72 70 68 64 60 58 57 52 50 49 44 42 41 40

